

まちクラブを実施するまで

(入院患者との交流の経緯)

「まちクラブ」とは、入院患者がボランティアと交流することにより、街に出掛けた雰囲気を楽しむプログラムです。その企画を実施するまでの道のりの一部を紹介します。

2024年2月 市内の高校に通う9人仲間の生徒に、「外来患者への関りだけでなくこれからは、入院患者への支援を考えてほしい」とお願いしました。

3月 1人の生徒が将棋部に所属しているので、みんなで病棟に上がって行って、将棋やトランプをしたらどうかと提案してくれました。

4月 院内の各関係部署と打ち合わせの後、「まちクラブのご利用について」のポスターが出来上がりました。

5月29日 5階病棟で「vs ボランティア 将棋対局」が実施されました

6月4日 6階病棟で「ミニコンサート」が実施されました

6月25日 3階病棟で「多世代交流」が実施されました

7月16日 4階病棟で「フルーツ&クラリネットのアンサンブル」が実施されました

その後、随時病棟支援を希望されるボランティアの方が来院される度に病棟にて承諾を得た入院患者との交流を行っております。

※ この活動は、運動不足解消や認知症予防に役立っております。